



地域資源を活用したビジネスモデルを創出
東京にあるインターナショナルスクールの
子どもたちが逢瀬町で農村体験



ターゲット 17.17

令和4年11月10日
郡山市文化スポーツ部
国際政策課
課長 石井 章浩
TEL：924-3711

SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公約、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

本市では、様々な体験を通して、滞在するゲストと受け入れを行うホストが地域と向き合う時間をつくり、持続可能な地域づくりを図る「サステナブルステイ発信事業」を逢瀬町で展開しています。事業の一環として、地域資源を活用したビジネスモデルを創出するため、逢瀬町が東京都内にあるインターナショナルスクールの子どもたちを受け入れます。

1 日時、場所及び内容

11月18日（金） 11:15～21:00

場所	時間	内容
なんだべ村 （郡山市逢瀬町多田野 字南山田原 1-2） WEB https://ouse-taiken.com/farmstay/nandabe 	11:15～12:00	【農村生活体験】 収穫された豆の選別などのお手伝いをします。
	12:45～14:00	【地域住民との交流】 地域を知るため、逢瀬住民と懇談します。
	14:00～16:30	【農業体験】 竹のお箸作りや、バケツで育てるお米作りを学びます。
休石温泉 太田屋 （郡山市逢瀬町多田野 字休石 29）	17:00～21:00	【逢瀬物語の作成】 その日に得た情報をもとに、逢瀬の紹介文を英語でまとめます。 【宿泊体験】 日本の温泉旅館文化を体験します。

2 参加者

- ・フェニックスハウスインターナショナルスクール
学生（9～11歳） 10名
- ・同学校長 クレア・フレッチャー氏 ほか



<サステナブルステイ発信事業>

新たな生活様式や地域の現状に対応した「交流機会の創出」・「賑わいの再活性化」を図り、持続可能な地域づくりを進めるため、2020年度から逢瀬町をモデル地区として実施している事業です。

<スクール概要>

- ・所在 東京都千代田区
- ・対象 5～11歳の留学生
- ・英国小学校の国際教育
- ・WEB <https://www.phoenixhouseschool.org>
- ・翻訳方法
 スマホ：メニュー欄から「翻訳」を選択
 パソコン：ページを開いた時に「日本語」を選択

